

連携教育通信

令和6年10月4日

中野区教育委員会指導室

就学前教育推進担当

中野区中野4-11-19

中野区役所 7階

電話 03(3228)5589

「中野区保幼小中連携サミット」開催！！

8月26日（月）、中野区保幼小中連携サミットを令和小学校にて開催しました。

「中学校区の保育園・幼稚園長（副園長）と小・中学校管理職及び保護者・地域の代表が、中学校区のカリキュラム連携等の取組や相互に関係している子どもの問題、具体的事項などについて検討することで、相互理解を深め、互いの連携を図り、保育園と幼稚園、小学校・中学校と保護者、地域住民が一体となって子どもたちを育てることができるようにする。」という目的の下、全中学校区の教育・保育施設が一堂に会しました。

9中学校区合計215名の参加者がありました。各中学校区の教職員・保護者地域の代表が「子どもたち」を話題の中心に、それぞれの立場や状況での子どもの具体的な姿が見えてくる協議だったように思います。当日の様子をお伝え致します。

<全体会@体育館>

【講話「これまでの保幼小中連携教育の取組について」：井元指導室長】



保幼小中連携教育の目的の一つは「接続期の不安解消」にあります。それぞれの教育施設が互いの取組の共通理解を図ることで、子どもたちが安心して学べる環境を作ることが出来ます。

また、連携を図ることにより、学びの連続性を担保し、中学校区で共通の教育課題を共に考える「カリキュラム連携」により、子どもたちに「生きる力」を育てることも目的としています。さらに、15年間の学びの連続性の中で同じ地域で働く教職員同士が同じ地域に住む子どもたちを同じ方向を見て育てていくことにつながります。導入期・充実期を経て、今年度は5か年計画の総括期と位置付けております。

「保幼小中カリキュラム連携研究」について、各中学校区の実態に合わせて課題・テーマを設定し、取り組んでいます。この後の分科会では、ご所属の校区の取組についてそれぞれのお立場でご協議いただけたら幸いです。（講話より抜粋）

【発表2つの中学校区による令和5年度の保幼小中連携教育の取組：北中野中学校区・緑野中学校区】



<北中野中学校区>

- 豊かな人間性の育成
- ・読書活動の推進・交流活動の充実

<緑野中学校区>

- 主体的によりよい生活や人間関係を築こうとする力の育成

～校区ごとのテーマに沿って取組の報告がありました

<中学校区別の協議@各教室>

中学校9校の校区に分かれてそれぞれの教室で協議を行いました。

第二中学校区



第五中学校区



第七中学校区



北中野中学校区



緑野中学校区



南中野中学校区



中野中学校区



中野東中学校区



明和中学校区



<分科会について 事後アンケートより>

- ・小中学校の校長先生方をはじめ、先生方や園長先生方のお顔を見ながらお話を聞くことができ、同じ地域で連携を図る上で、大変心強く感じることができました。(保育園)
- ・連携の枠組みを固めることができ、連絡をしやすくなったと感じた。(幼稚園)
- ・中学校、幼稚園保育園の具体的な取組を聞いて、参考になり、小学校としてどのような働きかけを行えばよいか考える貴重なきっかけになった。(小学校)
- ・分科会の話し合いの中で、保護者や地域の方から、連携教育について好意的なご意見やご感想をいただくことができ、有意義な時間でした。(中学校)
- ・協議と言うには時間がなく残念でしたが、保育園、幼稚園と小学校、小学校と中学校、中学校と保育園のそれぞれのつながり方についてお話頂き、各々情報交換共有ができていく様子に安心しました。(地域)
- ・自分が所属する地域に特化した情報が聞けたので、より有意義な時間に感じました。施策の説明だけでなく、先生方の和やかな雰囲気からも、普段から地域での連携が取れていることを感じましたし、是非この地域で15歳までの教育を受けさせたいという気持ちになりました。ありがとうございました。(保護者)
- ・こういった話を聞く機会が今までなかったので参加できてよかったです！子ども達が住みやすい地域になるように先生方が想いをもってこの保幼小中連携の取組をしてくださっていることを知れて嬉しかったです。もっと地域、保護者の方に知ってもらうことも大事だと感じました。私もママ友に話す機会があれば話していこうと思います。(保護者)

町会長さん等の地域の方や、小学校のPTA役員の方もいらっしゃり、地域の行事への取組等も具体的にお話を伺うことが出来ました。それぞれの地域の子どもたちの姿を共有し、これから先に何が必要かが話題になっている教室もありました。校区によっては、就学前教育・保育施設と小学校・中学校の連絡の取り方を確認するところもあり、この会の後、共有したとのことでした。

顔を合わせて話をしたことで、連絡が取りやすく交流がしやすくなったという意見もある反面、協議をする時間がもっと必要で、具体的に話題を掘り下げることができなかつた等、今後の課題も浮き彫りになりました。

「連絡先や連絡方法は…」というご意見や質問を多くいただいておりますが、『連携教育通信・別冊号』～中学校区別就学前教育・保育施設の情報について～という冊子のデータを次年度用に秋ごろに各校園にお配りしています。再送も可能ですので、データが見当たらない校園は、指導室・就学前教育推進担当までご連絡をいただきますようお願い致します。

今後就学に向けての交流も多くなるとお思いますのでご活用ください。